

## 平成24年度 第3回 鳥取大学経営協議会 議事要旨

日 時 平成24年11月26日(月) 15:00～17:00

場 所 事務局3階 第1会議室

出席者 安藤委員、岡本委員、永井委員、長谷川委員、古澤委員、吉岡委員  
能勢委員、林委員、本名委員、萩原委員、井藤委員、小林委員、北野委員

欠席者 平井委員

[陪席者] 山根監事、岸田副学長、清水副学長、矢部副学長

### 報 告

#### 1. 次期学長候補者の選考結果について

学長から、資料5に基づき、9月28日に実施された学長選考会議の結果、学長候補者として豊島医学部長が選考された旨、報告があった。

### 議 題

#### 1. 平成25年度予算編成方針(案)について

林理事から、資料1に基づき、予算編成の基本的な考え方として、支出予算のうち約51%を占める人件費については、給与改定臨時特例法に基づく国家公務員の給与削減相当額が運営費交付金から削減される厳しい財政状況を踏まえ、計画的な人件費の管理を行うことや、教育経費について、運営費交付金の減額が避けられない状況ではあるが、国の動向を踏まえつつ最大限配慮したいこと等の説明があり、承認された。

続いて、議題1に関連して、資料11に基づき、報告7の平成25年度概算要求について、「大学改革実行プラン(平成24年6月)」では、大学の機能の再構築と大学ガバナンスの充実・強化が示されていること等の国立大学を取り巻く状況を背景とした概算要求がなされている旨説明があった。また、鳥取大学分として文部科学省から財務省へ概算要求している特別経費についての報告があった。

#### 2. 平成22年度決算剰余金(目的積立金)について

林理事から、資料2に基づき、平成22年度決算剰余金(目的積立金)について、医学部附属病院の女性職員更衣室等整備事業外1件に充てる旨説明があり、承認された。

#### 3. 国家公務員の退職手当の支給水準引下げ等について

萩原理事から、資料3に基づき、「国家公務員の退職給付の給付水準の見直し等のための国家公務員退職手当法等の一部を改正する法律案」が成立したことを受け、本学も国家公務員に準じた対応をしたい旨の説明があり、承認された。また、今後鳥取大学教職員組合と交渉の過程で変更があった場合は、学長に一任することで了承された。

#### - 委員の主な発言 -

◇長谷川委員から、「国家公務員の退職給付の給付水準の見直し等のための国家公務員退職手当

法等の一部を改正する法律案」について、国会において十分な議論がなされないまま成立したように思われる。生活に直結する退職手当の引き下げについては、反対の意思表示をすることも必要ではないかとの発言があった。

#### 4. 中期目標及び中期計画の変更について

小林副学長から、資料4に基づき、岐阜大学との共同獣医学科設置に伴い中期目標及び中期計画を変更する旨の説明があり、承認された。

### 報 告

#### 2. 医学分野及び工学分野に係るミッションの再定義について

萩原理事から、資料6に基づき、医学、工学分野に係るミッションを再定義するため、学部等の強みや、社会的役割について整理を行った旨の説明があった。

#### 3. 医学部附属病院の現状と取り組みについて

北野病院長から、資料7に基づき、医学部附属病院の収支状況、経済誌「週刊ダイヤモンド」の頼れる病院ランキングにおいて総合ランキング8位となるなど、高い評価を得ている旨の報告があった。また、ロボット手術を核とした低侵襲外科センター（当該センターは、看護師・麻酔医師・技師等が対等な立場で発言できるとともに、全国初となる手術停止命令も出すことができる横断的組織である）や、次世代を支える高度医療や先進医療の推進を図るべく、次世代高度医療推進センターを設立するなど、新しい取組を行っている旨の報告があった。

#### 4. 平成23年度に係る業務の実績に関する評価結果について

小林副学長から、資料8に基づき、平成23年度に係る業務の実績に関する評価について、国際水準の獣医学教育の実施体制の構築を目指した共同獣医学科の設置を進めていることが積極的な取り組みとして評価されていること、また、全体としても概ね良好な評価を得ていることが報告された。

#### 5. グローバル人材育成推進事業の採択について

本名理事から、資料9に基づき、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる人材の育成を図ることを目的とした「グローバル人材育成推進事業」に本学が採択された旨の報告があった。

#### 6. 男女共同参画推進室専任教員の配置について

萩原理事から、資料10に基づき、現在設置している男女共同参画推進室に、専任教員（特命准教授）1名を雇用し、女性研究者の応募者数増加、キャリアアップの充実、就業環境改善に向けた取組を推進していく旨の報告があった。

#### 8. 学長経費の採択状況について

林理事から、資料12に基づき、前回経営協議会（8月31日開催）にて報告後に採択した

学長経費についての報告があった。

#### 9. 平成23事業年度財務諸表の承認について

萩原理事から、資料13に基づき、平成23事業年度の財務諸表が平成24年度9月26日付で文部科学省より承認された旨の報告があった。

#### 10. 給与の特例減額措置に伴う予算対応について

林理事から、資料14に基づき、給与臨時特例法に準拠した給与の減額支給に伴う法人負担額について、前回経営協議会（8月31日）では全職員を対象とした法人負担額を試算していたが、9月7日に文部科学省から、平成25年概算要求において、削減対象職員は平成16年4月の法人化の際に、国から承継された定員内職員に限る旨が示されたため、平成24年度の予算対応についても見直しを行い、執行保留としていた戦略的経費、基盤的経費の合計240,515千円のうち、120,515千円の保留を解除した旨の報告があった。

#### 11. 平成24年度人事院勧告について

萩原理事から、資料15に基づき、平成24年8月8日に行われた人事院給与勧告の骨子（下記参照）について説明があった。あわせて、この勧告に対しては「給与減額支給措置期間が終了する平成26年4月から実施する方向で平成25年度中に結論を得るものとする」旨の閣議決定が11月16日になされていることについても説明があった。

-給与勧告の内容-

- ・月例給、ボーナスともに改定なし
- ・50歳台後半層における給与水準の上昇を抑制するため、昇給・昇格制度を見直し

#### 12. 鳥取大学工学部附属グリーン・サステイナブル・ケミストリー（GSC）研究センター設置について

岸田副学長から、資料16に基づき、物質工学科及び生物応用工学科による「持続性のある生存環境社会の構築」を目的とした鳥取大学工学部附属グリーン・サステイナブル・ケミストリー（GSC）研究センターを設置した旨の報告があった。

#### 13. その他

学長より、資料17～18（大学の動き及び最近の地域貢献の取り組み等）については、後ほどご覧いただきたい旨の発言があった。また、次の経営協議会は1月中旬に行う予定としている旨発言があった。

以上